

第29回地理情報システム学会研究発表大会・FOSS4G分科会主催
COVID-19における「GISと社会」を考える
～情報流通とデジタル地図における役割・課題・展望～
2020年10月23日@Zoom

コロナ時代の共同研究 ～オンラインツール利用状況調査をふまえて～

近 藤 康 久



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature



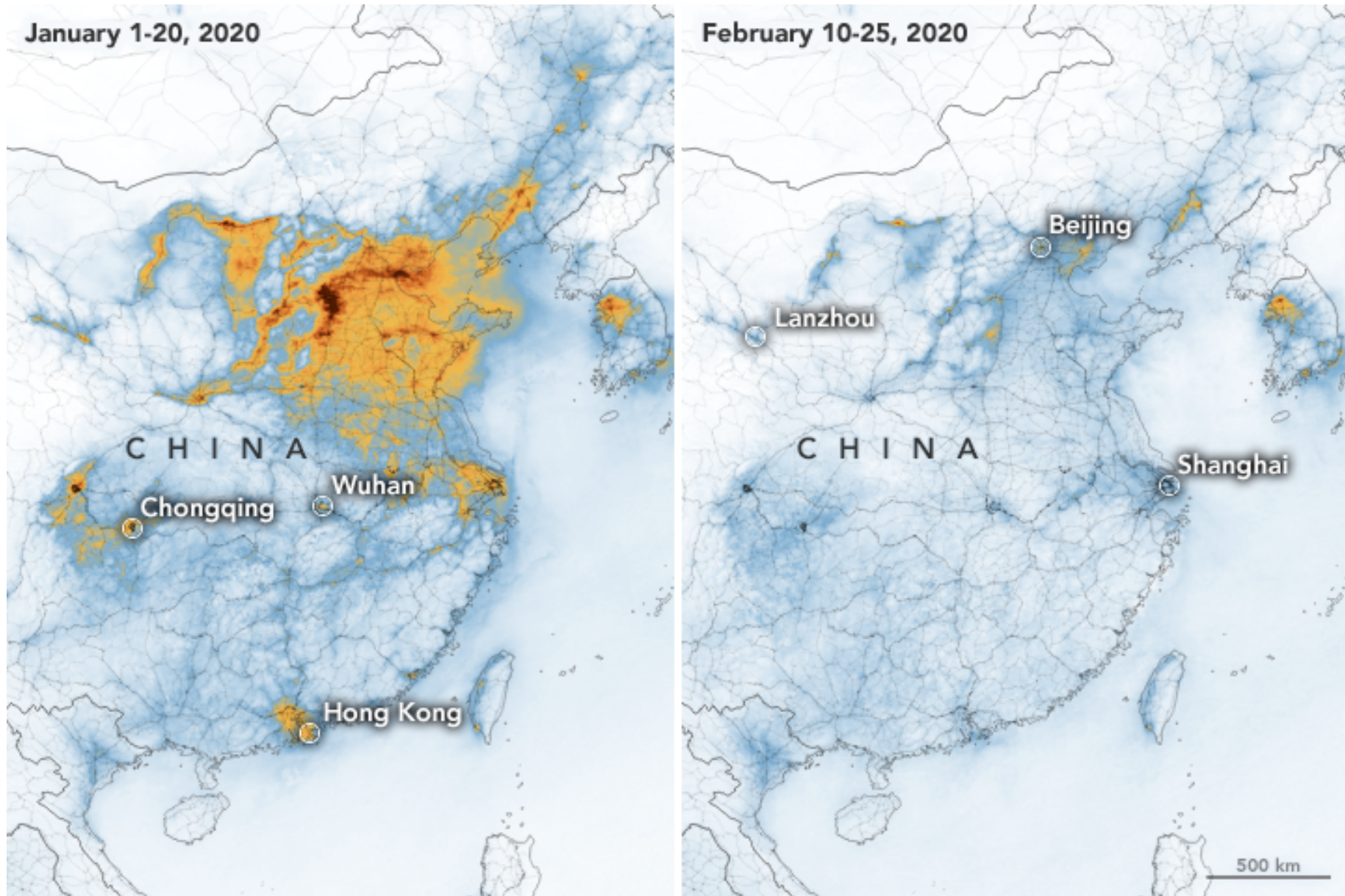
オープンチームサイエンス
Open Team Science Project

自己紹介



- 考古学 → 地理情報学 → オープンサイエンス論
- 総合地球環境学研究所（**地球研**）
研究基盤国際センター 情報基盤部門 准教授
- **オープンチームサイエンスプロジェクト**
プロジェクトリーダー（2018～2020年度）
- 日本学術会議 連携会員（今期 10/1～）
- http://researchmap.jp/yasuhisa_kondo
- Twitter @yaskondo

コロナ禍による経済活動停滞で大気汚染が改善



NASA & ESA 2020.3.2

<https://earthobservatory.nasa.gov/>

Mean Tropospheric NO₂ Density ($\mu\text{mol}/\text{m}^2$)

0 125 250 375 ≥ 500

対流圏の平均二酸化窒素濃度

2020年4月の一あたりCO₂排出量は約17%減少




nature
climate change

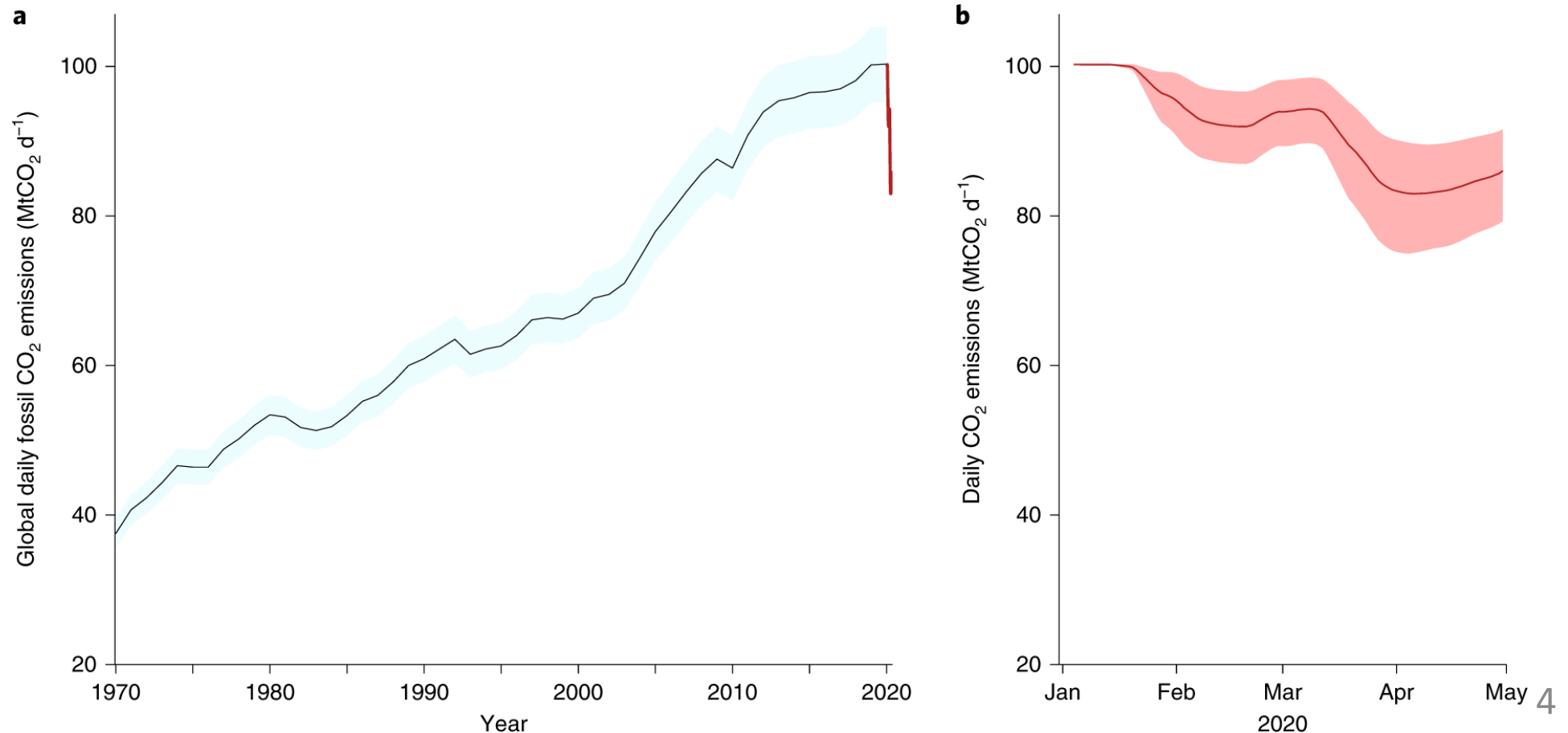
ARTICLES

<https://doi.org/10.1038/s41558-020-0797-x>

 Check for updates

Temporary reduction in daily global CO₂ emissions during the COVID-19 forced confinement (2020.5.19)

Corinne Le Quéré ^{1,2}✉, Robert B. Jackson ^{3,4,5}, Matthew W. Jones ^{1,2}, Adam J. P. Smith^{1,2}, et al.



環境と社会の相互作用としてのコロナ禍

1. 環境が社会を変える

- － ウイルスは野生動物由来
- － ヒトの移動（都市間交通）で感染拡大
- － 感染防止のため移動規制、鎖国状態
- － 社会的距離：社会関係の再構築
「ニューノーマル」→ 新しい文化・価値・共同体
- － 第二の感染：不安と恐怖が誹謗や差別を生む

2. 社会が環境を変える

- － 経済活動の停滞により、環境汚染が軽減

3. 要因が複合し解決の困難なWicked Problem

- － 解決には全世界の連帯と行動変容が必要

コロナ禍への対応には 行動科学の結集が必要

Using social and behavioural science to support COVID-19 pandemic response

Jay J. Van Bavel¹✉, Katherine Baicker², Paulo S. Boggio³, Valerio Capraro⁴, et al.

Threat perception



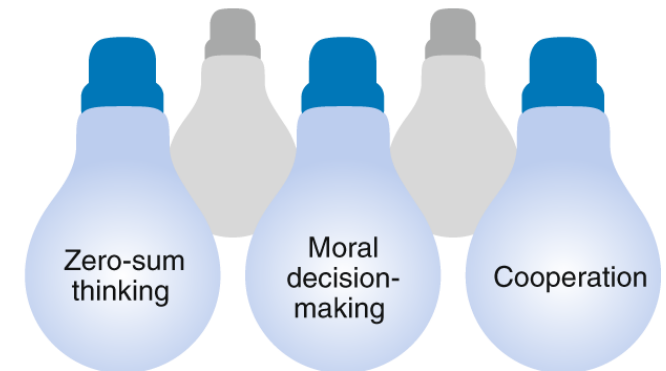
- Threat
- Emotion and risk perception
- Prejudice and discrimination
- Disaster and panic

Leadership



- Trust and compliance
- Identity leadership
- Ingroup elevation

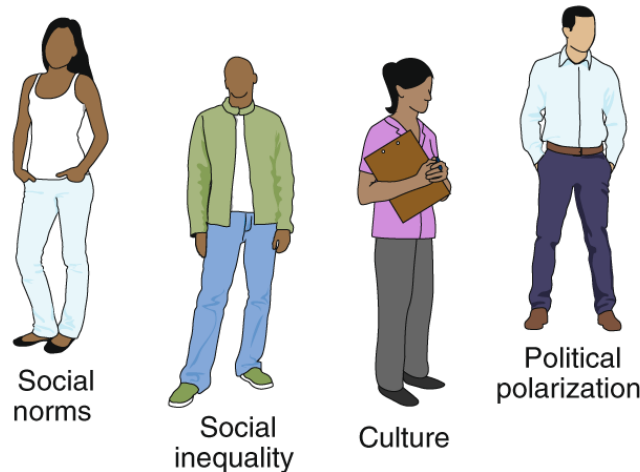
Individual and collective interests



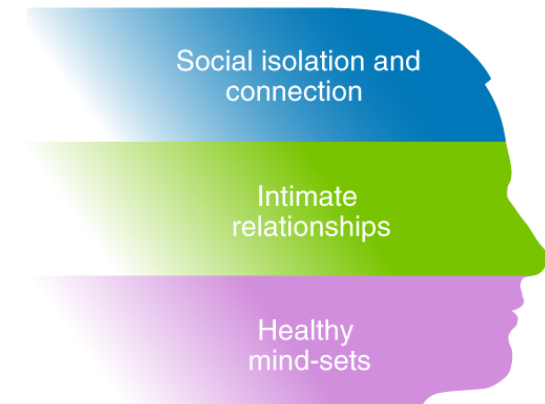
Science communication



Social Context



Stress and coping



コロナ時代の共同研究：何が変わる？

前提：社会的距離 → 社会関係の再構築

1. 共同研究のバーチャル化

- － 共時性はそのまま → 「**同期すること**」の重要性高まる
- － 物理的距離を取ると、社会的距離が広がることも
→ 研究の意義と必要性を問い直すチャンス

2. 変わり続ける世界の中で、研究者と社会の多様な主体が、新しい文化・価値・共同体を共創する

- － 社会心理学・行動科学の重要性が増す
 - 行動変容をうながすためのPersuasion
(ただし欠如モデルからの脱却が必要)

オンラインツール利用状況調査

- 6/23～30 Webアンケート実施
- 対象：地球環境学分野の研究者・研究支援者
- 回答者数：139人
- 結果→ [http://bit.ly/onlinetool
surv4colabresjp20](http://bit.ly/onlinetool surv4colabresjp20)



オンラインツール利用状況調査：まとめ

- SNSはLINE, Facebook Messenger, Slackが三強
- 遠隔会合はZoomがデファクトスタンダードに
- Google, Microsoft 365などのSaaSが普及
→ 共同作業やコミュニケーションを容易にするだけでなく、コミュニティへの参加自体も容易になる。
- 利用者のすそ野を包摂的に広げる
- 詳細は農村計画学会誌39巻2号特集
「オンラインコミュニケーション」
基調論考(近藤2020)にて→

<http://id.nii.ac.jp/1422/00003705/>

